

# 令和4年度 新入生に読んで欲しい本



先生からのおすすめです。人生の視野を広げるのに役立ててください。世界の見方が変わるかも。

	書名 / 著者名	出版社	教員からのコメント	価格(税込)
1	逆ソクラテス / 伊坂幸太郎	集英社	伊坂幸太郎の本は、息抜きにはちょうど良いと思う。特にこの「逆ソクラテス」は短編集と言うこともあり、読みやすく、また読後感も非常に良い話ばかりだと思う。子供が主人公の話も多く、感情移入しやすいのではないだろうか。伊坂幸太郎入門の書としてはおすすめ。	1,540円
2	Newtonライト ゼロからよくわかる三角関数の超入門書	NEWTON PRESS	高専に入ってから学ぶことになる三角関数の入門書です。毎年1年生が学ぶのに苦労している分野なので、少し早めに予習をしてはどうでしょうか。一見すると関係のなさそうなところから、非常に高度な内容まで扱っている入門書で、カラーの図解もあって理解しやすい内容になっていると思います。	935円
3	解きたくなる数学 / 佐藤雅彦、大島遼、廣瀬隼也	岩波書店	ピタゴラスイッチの制作陣が作った、一風変わった数学の問題集です。難しい数式はできません。「東京都民には、まったく同じ髪の本数の人の組が必ず1組はある」など、ちょっと不思議な問題だけど、解説を読むと深く納得。数学が得意な人にも、少し苦手という人にも、おすすめです。	1,980円
4	暗号解読 / サイモン・シン	新潮社	この本は、暗号に関する歴史や逸話を紹介しているものです。スコットランド女王メアリーの暗号から始まり、エニグマや電子メール、最後は量子コンピュータの話まで続きます。数学や物理に関する内容を、非常に平易な文章で説明しているので、とてもわかりやすいです。知的興奮を感じたい人は、ぜひ手に取ってみてください。	上：737円 下：781円
5	食卓の情景 / 池波正太郎	新潮社	この本は、『鬼平犯科帳』や『剣客商売』で有名な池波正太郎が食について語っているエッセイです。食の好みは、非常に個人的なものです。その個人的な嗜好を突き詰めていくところに、楽しみがあります。池波正太郎は、淡々と語りながら、その突き詰めていくところを我々に見せてくれます。食通とは、こういう人のことを呼ぶのだと思います。	781円
6	はなとゆめ / 沖方丁	角川文庫	この本では、『枕草子』を書いたことで有名な清少納言が、年下の主人である中宮定子という魅力的な人物に出会い、自身の才能を引き出されていく様子が描かれています。新入生の皆さんも、新しい環境に対して不安があると思いますが、こうした出会いによって、自身の才能を発揮していただきたいと思っています。	704円
7	詩の樹の下で / 長田弘	みすず書房	日々の勉強に追われて生活していると読書する時間などないと思うかもしれない。ほんのしばらくの間だけでも詩につきあう時間を生きてみると、生活のリズムや時間が違ったものになるだろう。切り株に時間が含まれているように、この小さな詩集には、木や森や切り株の「存在がそのまま叡智であるような閑さ」、「日々の魂を浄めるような時間」が含まれている。どの詩を読んでも、「あくせく一生かけて、人は一本の木におよばない時間しか生きないのだと」感じるだろう。本詩集は福島出身の詩人による樹影の記憶、追悼の祈りを集めたものであり、彼が2011年に出版した詩集のひとつである。	2,200円
8	法の世界へ 第8版 / 池田真朗	有斐閣	2022年の4月から成人年齢が20歳から18歳に変わります。未成年者と成人は、年齢以外に何が違うのでしょうか。代表的なもの1つに、未成年者は高額な買い物をした場合でも、後で取り消すことができます(例外もあります)。これは、法律が未成年者を保護しているからです。このような自分の身を守るルールを知ることが、社会で暮らす上で不可欠です。内容的には少し難しいかもしれませんが、是非本書を読み少しでも法律に興味を持っていただくと幸いです。	1,870円
9	レジリエンス入門: 折れない心のつくり方 / 内田和俊	筑摩書房	「レジリエンス」はSDGsの目標にも出てくることばで、「強靭さ」と訳することが多いようですが、本書はその入門書。第1章は概説で、大切なことが書いてあるのは第3章だと思っています。「様々な制約のある不公平で理不尽な現実を素直に受け入れ、その状況の中でベストを尽す」ということばが印象的。常にそんなふうに見えるのなら、少しはましな日常になる気がします。	902円
10	旅する練習 / 乗代雄介	講談社	リフティングの練習、文章の練習、旅の(生きる)練習を、歩くことで実践するという話です。ロード・ノベルで、現代日本の、令和2年3月のコロナ禍のある状況の一断面を鮮やかに切り取った小説。物語の最後、中学生の亜美の状況にいろいろ考えさせられる。	1,705円
11	死にたがりの君に贈る物語 / 綾崎隼	ポプラ社	『この本がきっかけで、本を読むことが好きになった』との声を聞きました。選者自身は、今は小説をほとんど読まないのですが、どんなきっかけでもいいので読むことに親しんでほしいと思い、推薦します。 ー以下、前書きからー あなたがいるから、私は小説を書こうと思います。 著者自身の根源的な問いを内包する、痛切な青春ミステリ!	1,870円

	書名 / 著者名	出版社	教員からのコメント	価格(税込)
12	ゼロからトースターを作ってみた結果 / トーマス トウェイツ	新潮社	イギリスの芸術系の大学生が、「土から掘り出した状態の原料からトースターを作製する」という卒業制作をする話。原料は、もちろん採掘するところから始まる。現代の電化製品は高度化が進みすぎていて製作の工程のイメージがつきづらいが、筆者にも専門的な知識がないためとても読みやすい。成果物は表紙のものなので、出来は推して知るべしだが、この本を通して等身大のものづくりの葛藤や面白さ、分からない中でのモノづくりへのアプローチを感じて欲しい。	880円
13	物理の散歩道 / ロゲルギスト	岩波書店	7人の物理学者が、身近な現象を物理を通して考える本。日常を通して、物理学の原理や考え方を学ぶことができる。普段目にする現象でも、物理を通して考えると、実際は想像とは異なる動きをすることなどが分かる。この本を読むことで、物理学、ひいては理学の面白さを感じてもらえると嬉しい。テーマを挙げると、「つめこむ(満員電車に効率良く人を詰め込む話)」「洋服は二着交替に着た方がいいか」「紙玉デッポー」「花火(線香花火の構造や原理)」などである。	
14	砂漠 / 伊坂幸太郎	新潮社	この本は、特に理学に関係する内容ではない。5人の大学生が、ただ比較的普通の大学生活を送る物語である。その内の1人は、おそらく多くの人が変な人物だなと思うような人物像なのだが、妙な存在感があり受け入れられている。これから皆さんは高専生活を送る訳だが、様々な学校の常識の枠に捉われているのではないかと思う。この物語はその常識の枠を少し外してくれるのではないかと思ひ推薦する。 なお、伊坂氏の著作としてはこの作品は派手なものではないので、派手なものが好きならば、陽気なギャングシリーズをオススメする。	869円
15	図書館の魔女 第1~4巻 / 高田大介	講談社	異世界モノですがライトノベルではありません。ある国の諮問機関である図書館の主は膨大な読書量による知識と知性をもつ「高い塔の魔女」ですが、喋ることができません。ストーリーは国家間の戦争を回避するファンタジーで、声を持たない少女を中心に展開される外交交渉に引き込まれるでしょう。同時に言葉、その意味についても読者に問われます。計算機科学を志す学生にも言語について考え直す機会になると思います。	1巻：748円 2巻：858円 3巻：770円 4巻：1,210円
16	新・物理入門 / 山本義隆	駿台文庫	一般的な高校の物理では積分を使いません。大学では当然のように積分を使います。僕は大学1年で積分を使う物理学の授業で、積分の意味と物理の公式が頭の中で結合して感動すると同時に、記憶に頼った高校物理教育に激しく怒りを感じました。なぜこれを教えてくれなかったんだと。本書は高校生向けながら最初の14ページ目から積分が出てきます。HowよりWhyを重視する学生にお勧めです。著者の山本義隆は知る人ぞ知る日本の知の大家です。	1,210円
17	父の詫び状 / 向田邦子	文藝春秋	高専の学生さんは、将来を見据えて自分の専門性を高めることを考えていると思いますが、どこで何をやるにしても、生活の基礎、専門性を表現するための基礎は重要です。生活の基礎として家庭のことを考え、表現の基礎として美しい日本語に触れて頂きたいと思い、本書を選びました。私自身、高校生の頃に読んだ本です。	693円
18	ジェーン・エア / シャーロット・ブロンテ	新潮社 光文社 岩波書店	こちらは大学院生の頃、実験で帰宅が遅くなるにも関わらず、引き込まれるように読んだ本です。今思うと、主人公の男女2人の芯の強さに惹かれていたのかと思います。相思相愛になる2人ですが、両者とも美男美女ではありません。ですが男性は女性のことを「不壊の宝石」と礼賛しています。これは心の強さ、美しさを宝石に例えているのだな、と今更ながら思います。お互いの類似性が楽しみながら、生ある限り正直に暮らしたのだらう、と想像させられます。	上：880円 下：880円 上：924円 下：990円 上：1,177円 下：1,254円
19	夢を実現する数学的思考のすべて / 苫米地英人	ビジネス社	著者の苫米地博士は「学問とは新しい宇宙のからくりを見つけ、解明し、できれば証明することだ。」とこの本の中で述べています。本書を読んで、「Aiにはまだまだ負けんよ!」という意気込みのもと、すべてを可能にする数字脳の作り方を学びこれからの人生を豊かなものにしましょう。	1,100円
20	新版 百式英単語 最速インプット / 太田義洋	西東社	「百式」という言葉が好きで選びました。この本は、単語の覚え方が最初に書いてあります。真面目に取り組めば、1日20分25時間で2023語が覚えられます。音声データも別売されています。理系で潰しの効く人間になるためには、数学と英語ができることが必須条件です。コツコツと勉強する習慣を身につけてください。	1,100円
21	空気の発見 / 三宅泰雄	KADOKAWA	間近にあるのに見えない、空気。空気がどのようなものなのか明らかになった裏には、膨大な時間の経過と科学者たちの汗や涙がありました。本書は、色々な空気の研究の話を軸に、自然科学史が小気味よくつづられています。今私たちが理科を学ぶにあたり恩恵にあずかっている、科学知識の有難さに気付かされる一冊です。	482円
22	増量 日本国憲法を口語訳してみた / 塚田薫	幻冬舎	今の日本国憲法は、公布されて70年以上が経ちました。その間、日本国を取り巻く情勢は変化しています。改憲か、護憲か、どこを改め、どこを護るべきか。これからはますます盛んになっていきそうな議論に乗り遅れないように、本書を通して今の憲法を身近なものにしてみませんか？	506円
23	格言の花束 / 堀秀彦	社会思想社 文芸社	古今東西の色々な人の言葉が、テーマごとに淡々と記されています。中には難しい言葉のものもあるでしょう。完璧に理解しようとしなくても構いません。年齢や状況によって、捉え方が変わったりもするからです。一つ一つの言葉は「薪」のようなものであると思います。その時々気に入った言葉で「火」をおこし、足元を照らしてみてください。	

	書名 / 著者名	出版社	教員からのコメント	価格(税込)
24	天災から日本史を読みなおす 先人に学ぶ防災 / 磯田道史	中公論新社	この本の著者は、古文書からその時代の風景を読み解くことを得意としている。その著者が、近年の災害や今後起こるであろう大規模災害について、古文書の災害記録と照らし合わせるという切り口で考察し、防災について考えている。日本という災害多発地に居住している我々が知っておくべきことが書かれている。	836円
25	暮らしをまもり工事を行った お坊さんたち (土木の歴史絵本第1巻) 他 / かこさとし	瑞雲舎	行基、空海など人々と苦楽を共にして社会基盤を作り上げた人たちの話を絵本にしたもの。このシリーズとして、第2巻「川を治め水と戦った武将たち」(武田信玄、豊臣秀吉、加藤清正)、第3巻「技術と情熱をつたえた外国の人たち」(モレル・ブライトン、デ=レーケ・ケプロン)、第4巻「土木技術の自立を築いた指導者たち」(井上勝、古市公威、沖野忠雄、田辺朔郎、広井勇)、第5巻「海外の建設工事に活躍した技術者たち」(青山士、八田與一、久保田豊)がある。すぐに読めてしまうので入門者用だが、ここから昔の技術者の志と気概を学んでほしい。	各1,320円
26	昼間のパパは光ってる / 羽賀翔一	徳間書店	ダム現場で働く若い建設技術者が働く喜びと葛藤、支える家族への想いを胸に仕事の意義を一つ一つ学んでいく姿を描いたコミック。【25】よりは読むのに時間がかかるが今の土木工事の現場の雰囲気や人との関わりがよくわかるのではないかなと思う。	815円
27	地形と水脈で読み解く！新しい 日本史 / 竹村公太郎	宝島社	土木技術者であり、国土交通官僚だった筆者が、「地形と水」という視点で日本史をとらえなおしたもの。自然と折り合いをつけて生きてきた日本人の営みがよくわかると思う。「治水工事を通じて武田軍団は鍛えられ、なおかつ経済力を蓄えて彼らは戦国時代最強と謳われる集団へと育ったのである。」(同書P115)	968
28	国土が日本人の謎を解く / 大石久和	産経新聞出版	【27】の筆者と同様に土木技術者であり、国土交通官僚だった筆者が、これは日本独自の地理地形(及びそれに起因する災害)が、日本人のアイデンティティにどのような影響を与えてきたかという観点から論じたもの。図表を用いたデータの提示を踏まえた「災害死史観」と「紛争死史観」、「公」と「共」などの考察が素晴らしい。(【27】よりは若干上級者向けか?)	1,430円
29	品格ある日本人 / 名越真之	PHP研究所	工学というよりも人としての立ち居振る舞い、職業倫理を考える上で読んでほしい本。元は東京都内の中学校の「道徳」の授業の参考として書かれたエッセイ集。1話がせいぜい数頁なので1年生にも読みやすいものと思われる。	1,430円
30	技術屋の心眼 / E. S. ファーガソン	平凡社	この本は、少し難解なので専攻科(あるいは教員の方々?)向け。「第二次世界大戦以後、工学の主流は、数式的な関係に表現できない知識を敬遠する傾向にある。社会的地位が高く教えるのも容易で解析的な「工学的科学」が好まれ、工学的技能は隅に押しやられてきた。本書の基礎をなす議論は次の点にある。すなわち言語によらない学習という工学における貴重な遺産を無視した教育は、無数にある微妙な点——そこでは、現実の世界は教授が教えてくれた数学的な世界とは異なっている——については恐ろしいほど無知な学生を生み出してしまおうだろうということである。」(同書P7)、「現場において、そして現場においてのみ、現実の世界の複雑さ、すなわち、図面や数式が無視している要素を学ぶことができるのである。」(同書P82-83)等引用したいところ多数。	1,650円
31	関西の公共事業・土木遺産探訪 第1~3集 / 坂下泰幸	北斗書房	阪神高速道路(株)の技術者であった著者が、関西における土木遺産等を実際に現地を見て、資料を漁り、それをもとに考えてまとめたエッセイ集。第3集では35箇所の土木遺産が対象となっており、うち福井県関係では「疋田舟川」「春日野道」「柳ヶ瀬隧道」「三国港」が掲載されている。それぞれの施設が、どのような背景、目的で計画され、どのような技術を用いて完成されたか、その後の社会情勢により今はどうなっているのかといった内容が記されている。	第1集： 1,650円 第2集： 1,760円 第3集： 1,760円
32	トヨタ 現場の「オヤジ」たち / 野地秩嘉	新潮社	トヨタ自動車に中卒で入社、鍛造工を振り出しに、副社長にまでなった河合満氏の一代記。随所にトヨタ流の考え方が散りばめられている。「手作業の部分も残してある。それはロボットの性能を上げるためだ。ロボットは人間がやったことを真似る。人間の技能が上達しない限り、ロボットの性能はよくならない。」(同書P41)など。	814円
33	知の体力 / 永田和宏	新潮社	誰も「知力」は貸してくれない 全ての学びたい人に細胞生物学者・歌人の著者が伝える自分自身の鍛え方(本の帯の文句)。「問題には一つの答えがあるものだと思ってきた教育と、何一つ絶対的な答えというものが無い実社会とのあいだに、バッファー(緩衝帯)が必要だと私は思っている」(同書P19)。「私は学年のはじめには、「私の言うことはすべて正しいとは限らないので、そのつもりで聞いてください」と言うことにしている」(同書P30-31)。どちらかという、4年生以上向けか?	880円

